

- このたびは、アルマーデⅢをご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この取付説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
- ネジ止め箇所は指示してあるネジを確実に止めてください。

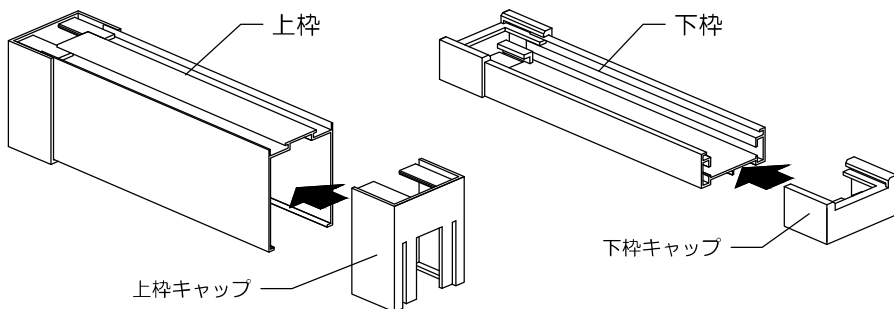
## ■部品の確認 (梱包内の部品点数をお確かめください)

本 体 1セット	縦 枠 2本	上 枠 1本	下 枠 1本	上枠インナー 2本
(縦枠は本体にセットされています。)		上枠キャップ 2個	下枠キャップ 2個	上部フック W≤2400 6個 W>2400 10個
トラスタッピン φ4×16 14本	サラタッピン φ4×16 5本			下部フック W≤2400 6個 W>2400 10個
(製品寸法により、余る場合があります。)	(製品寸法により、余る場合があります。)			(製品寸法により、余る場合があります。)

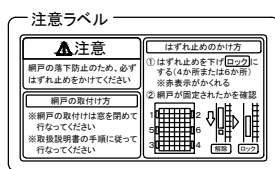
## ■取付手順

### ① 上下枠の取付け

- (1) 上枠に上枠キャップ、下枠に下枠キャップをそれぞれ両端にハメ込んでください。

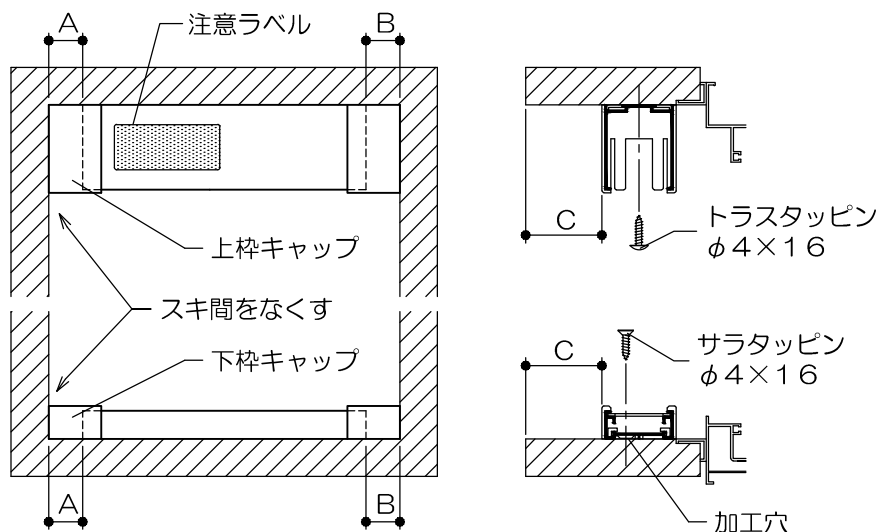


- (2) 上枠は注意ラベルが室内側にくるように両面テープで仮固定してください。下枠の加工穴を室内側にするとネジの頭が見え難くなりキレイに仕上がります。



#### 注意

- ・上下枠両端のA・B隙間寸法及びCの寸法を揃えてください。



- (3) 上枠はトラスタッピンφ4×16、下枠はサラタッピンφ4×16にて取付けてください。

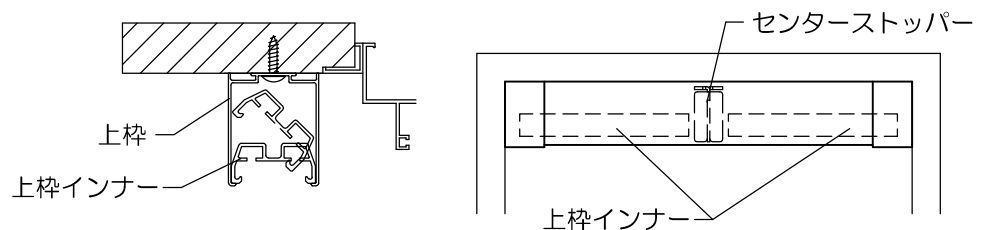
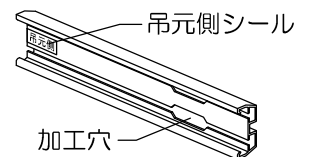
- (4) 上下枠キャップをスライドさせ、額縁とのスキ間をなくしてください。

### ② 上枠インナーのセット

- (1) 上枠に上枠インナーをセットしてください。

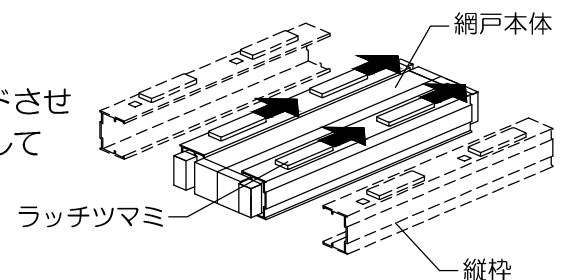
#### 注意

- 吊元側シールが付いている方が網戸の吊元になるようにセットしてください。

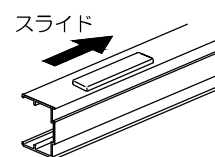


### ③ 縦枠の取付け

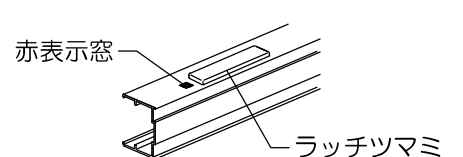
- (1) ラッチツマミをスライドさせ網戸本体から縦枠を外してください。



#### 【ラッチ閉状態】



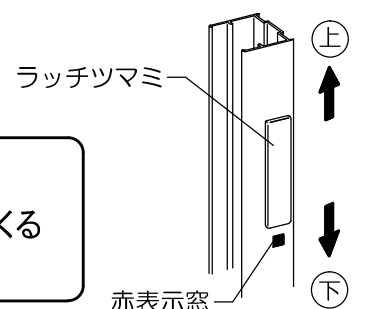
#### 【ラッチ開状態】



#### 注意

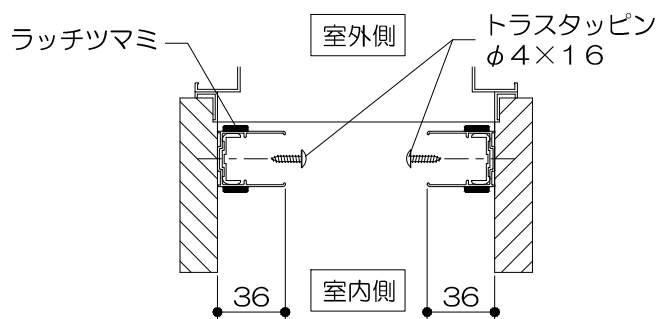
- ・赤表示窓がラッチツマミに隠れている状態が『ラッチ閉』状態、赤表示窓が見えている状態が『ラッチ開』状態です。
- ・ラッチツマミは室内外どちらからでも操作できます。

- (2) 縦枠をトラスタッピンφ4×16で取付けてください。



#### 注意

- ・縦枠に上下方向があります。必ず赤表示窓がラッチツマミの下側にくる方向で取付けてください。

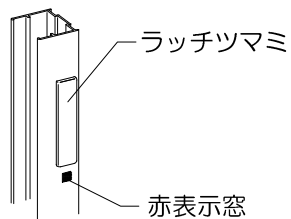


注意

- ・縦枠は下合せて取り付けてください。

## 4 本体の取付け

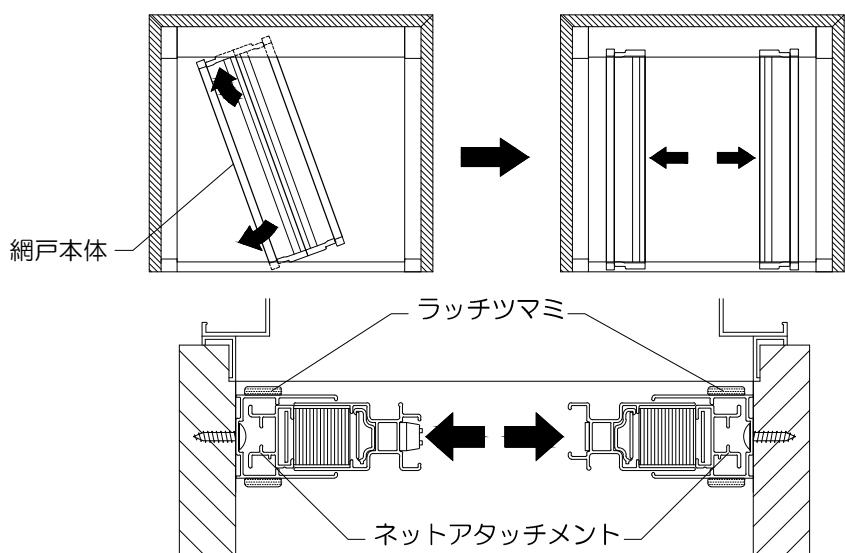
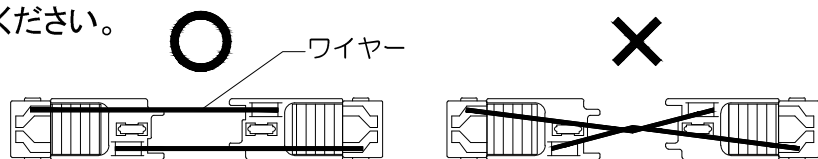
- (1) 縦枠のラッチツマミ下の赤表示窓が見えていることを確認してください。



- (2) 本体を上下枠に建て込み、ネットアタッチメントを縦枠に押し付けながらラッチツマミを下へスライドさせ本体を取付けてください。

注意

- ・本体を建て込む前にワイヤーが絡まっていないことを確認してください。



注意

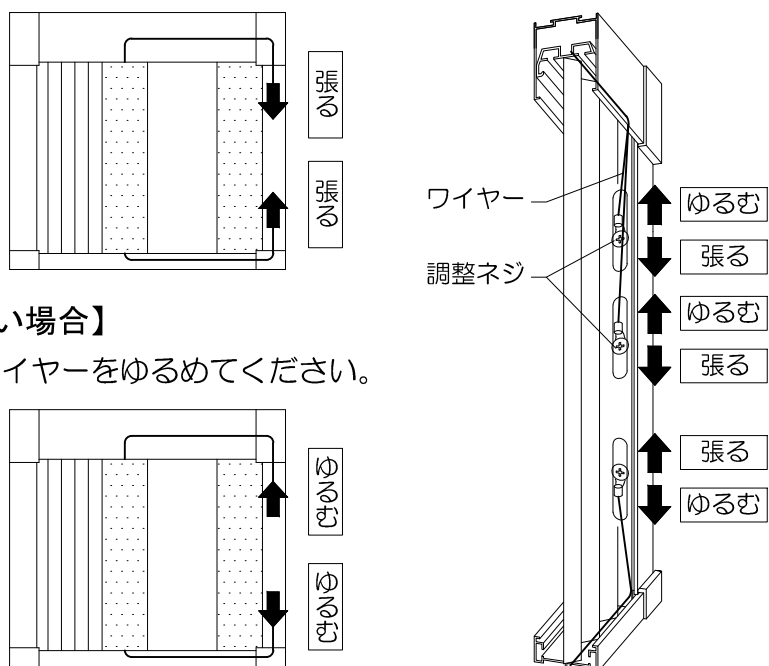
- ・本体に上下方向と内外方向はありません。
- ・ラッチがしっかり掛かっていないと、網戸本体が脱落する恐れがあります。取付後、赤表示窓がラッチツマミに隠れていること、また網戸本体を引っ張り、固定されていることを確認してください。

## 5 ワイヤー調整

ワイヤー調整が必要な場合は、可動棧を中央まで引き出し、縦枠内の調整ネジでワイヤー調整を行ってください。

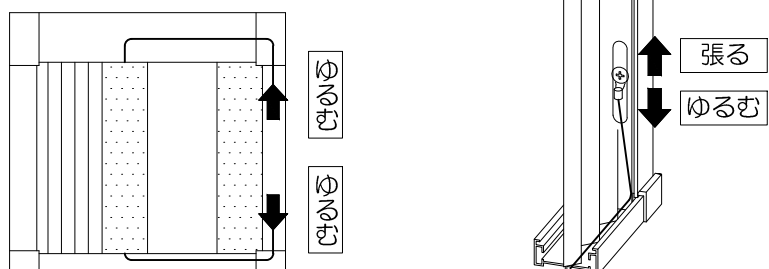
### 【ワイヤーにたるみが出てガタつく場合】

全てのワイヤーをたるみがなくなるまで張ってください。



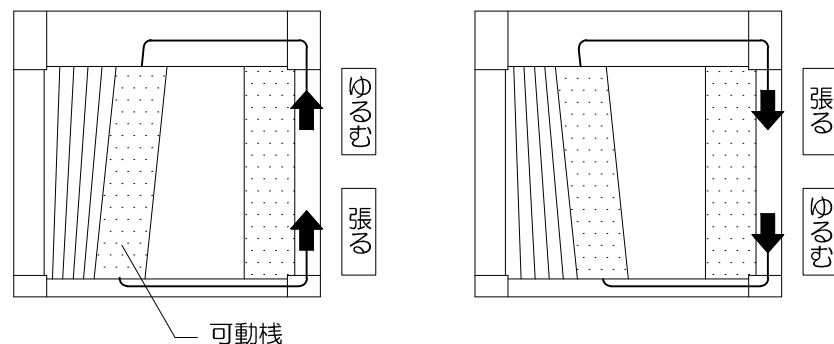
### 【開閉が重い場合】

全てのワイヤーをゆるめてください。



### 【可動棧が斜めになる場合】

上下のワイヤーの片側を張り、片側をゆるめてください。

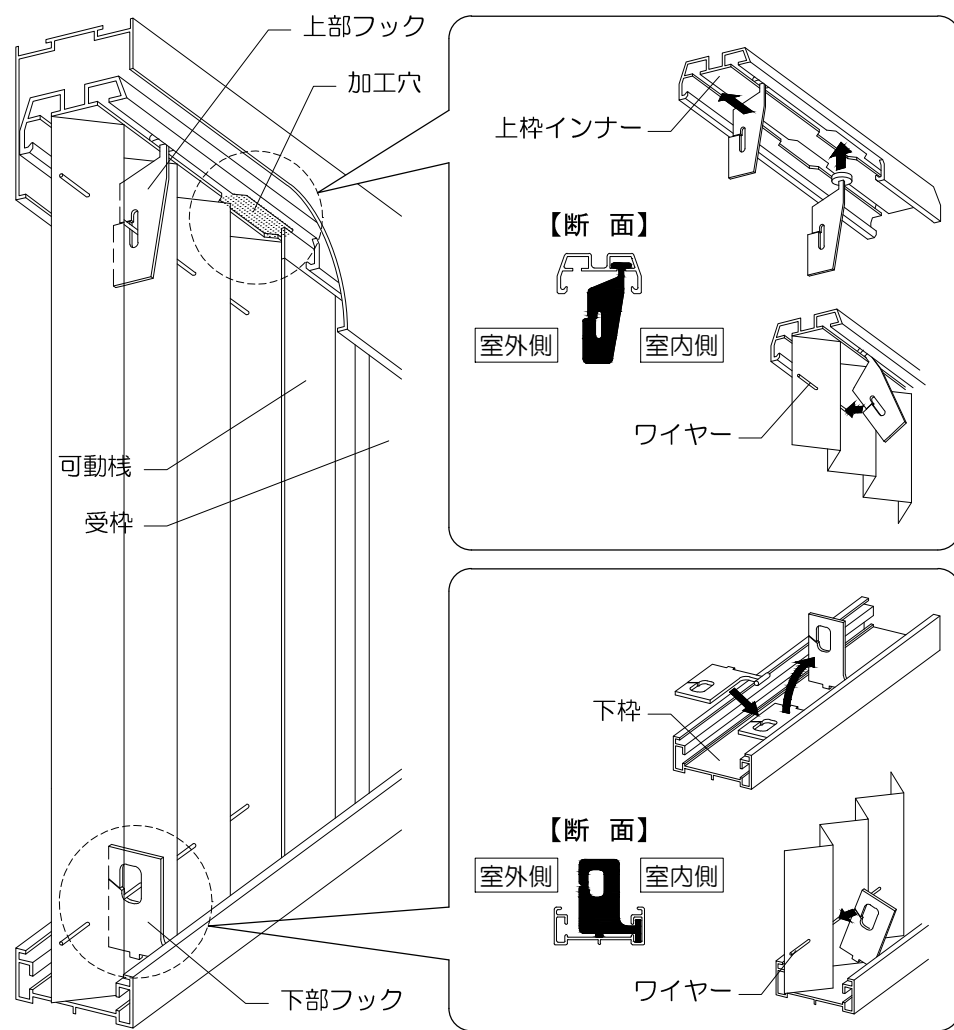


## 6 上下フックの取付け

- (1) 可動棧を中央まで引き出します。
- (2) 上部フックを上枠インナー室内側の加工穴から挿入し、ワイヤーに引っ掛けてください。
- (3) 下部フックを下枠室内側の横溝より挿入し、ワイヤーに引っ掛けてください。

注意

取付位置は約30cm間隔で上下同じ位置にしてください。



## 7 マグネットの調整

可動棧に付いているマグネットの磁力が弱い場合には、可動棧の上下に付いているマグネットのネジをゆるめ、上下に移動させてください。マグネットとマグネット受けの当たる面積が変わり固定強度が変化します。

